

自慢の塗装技術、新規開拓と 人材確保で売上倍増狙う

納期相談
コスト相談
オンライン技術
試作可
小ロット
量産対応



塗装ブースにセットされた製品

業務内容
静電とカチオン同時塗装、
オンラインワン技術で存在感

「小山塗装工業所」は、昭和40年5月に個人創業し、平成8年11月に有限会社として設立した。機械工具の塗装をメインに今では数少ない静電焼き付け塗装とカチオン電着塗装の両方を手がける。その割合は静電焼き付け塗装が70%、カチオン電着塗装が20%、粉体塗装も10%となっている。

納期の厳守、品質向上の安定、納品時のクレームゼロをモットーに、熟練工のノウハウを生かし、静電ハンマートン塗装において均一に曲面が塗装できるオンラインワン技術を擁し、顧客に設計段階から提案できる企業として存在感を示している。

強み
あらゆる塗装に対応、
熟練工が製品設計から提案

機械工具を主として塗装しており、静電焼き付け、粉体静電、カチオン電着の各塗装装置を有し、一社であらゆる塗装ができるのが強みだ。扱う製品は100種類以上、色は50色以上で「注文は1個から可能で、万力なら1日2,000丁は塗装できる」と小山雅史社長は自信を見せる。

社長自身も経験30年以上の熟練工で、塗装に関するノウハウを駆使し、製品の設計から、塗料の選択、塗装手順、具体的な塗装方法まであらゆる工程で、いかに効率的な塗装ができるかを顧客に提案しており、創業以来、顧客とは厚い信頼で結ばれている。

独術
曲面にも均一模様、
ハンマートン塗装に自信

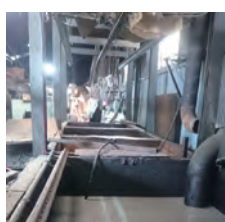
静電焼き付け塗装では、ハンマートン塗装を得意とする。その名の通りハンマーで叩いたような立体的模様で高級感を演出し、耐久性も高いのが特徴だ。同社はそこで難しいとされる曲面への塗装や模様をムラなく均一に塗装する技術に絶対の自信を持つ。加えて高級感の高いクリヤー塗装などの処理の難しい塗装にも精通している。

一方、カチオン電着塗装では水洗などの関係から小さな電着槽の確保が難しいが、同社は小容量1.5tの電着槽を独自に開発し、省スペース化を実現した。耐衝撃性や耐腐食性などの顧客の要望に込めている。

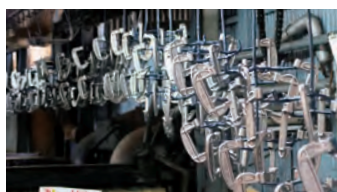
今後の展望
販路開拓、設備投資、人材確保で
5年後8,000万円に売り上げを倍増

今後は公的支援機関などと塗装の技術・技能部分の数値化を進めて技術を高度化するほか、塗装機メーカーと連携し、新技術の取得や技術力向上を図る。一方、大阪府門真市の異業種交流組織「門真メタルスーパー群団」や門真市認定の「カドマイスター」などを通じ、市との連携も強化する。金融機関が開くビジネス交流会を通じて、販路開拓にも力を入れる。

今後、主要取引先を第一としながら、設備投資や人材確保にも力を入れ「現在の売上高約4,000万円（平成28年10月期）を5年後に8,000万円にしたい」と小山社長は意気込む。



カチオン電着
塗装装置



塗装を待つ多数の万力

当社の歴史



昭和40年の創業以来、各種金属の焼き付け塗装（静電、粉体、カチオン電着）や各種金属表面処理を手がけています。多品種・小ロットに対応し、納期の厳守、品質向上安定化、納品におけるクレームゼロをモットーに、顧客のコスト低減につながる塗装技術などの提案も積極化しています。

代表取締役 小山 雅史さん

主な事業内容

金属焼き付け塗装（静電焼き付け塗装、カチオン電着塗装、粉体塗装）

主な取引先（納入先）

機械工具製造メーカー

住所

〒571-0034
門真市
東田町12-27

●TEL 06-6908-2191
●FAX 06-6908-2191
●創業 昭和40年5月
●設立 平成8年11月
●資本金 600万円
●従業員 4名

大阪
28